

プレスリリース

CogniVue は株式会社豊通エレクトロニクスが **APEX** パートナープログラムに参加すると発表

東京、2014年12月11日、カナダ、オタワに本社をかまえる CogniVue Corporation (CogniVue) は、株式会社豊通エレクトロニクス (TTE) が APEX パートナープログラムに参加することを発表致しました。CogniVue は、自動車・消費家電の市場向け APEX Image Cognition Processor (ICP) 技術に関する特許を取得しており、CogniVue 社の APEX ICP 技術は、従来のプロセッサアーキテクチャに比べて、100倍以上の省電力を実現し、System-on-Chip (SoC) ベンダーにとって最適な選択となります。また、TTE の APEX パートナープログラムの参加により、CogniVue は日本において APEX の強固なエコシステムを引き続き構築していきます。

「CogniVue は、APEX ICP IP の APEX プログラミングツール、APEX-CV のライブラリの画像映像処理アルゴリズムを含んだ‘Vision Stack’の全てをご提供致します。さらに、私どもの APEX P パートナープログラムにおいては、お客様に製品ソフトウェアをご用意できることを保証致します。私どもは TTE が新たなキーマンバーとして APEX パートナープログラムに参加して頂く事を嬉しく思い、これから日本で自動車向け自動データ取得システムの強固なサポートを提供していきたいと思っております。」と CogniVue の副社長兼製品管理・マーケティングのトム・ウィルソン氏は述べました。

「CogniVue の APEX 技術が日本の自動車市場において大きなチャンスがあると考えております。私達は、弊社の専門分野であるソフトウェアやシステムと CogniVue の専門分野である APEX ICP コアとアルゴリズムの組合せは、両社にとって有意なチャンスが生れると考えております。」と豊通エレクトロニクス マーケティング/ソフト部門長の小林幹士氏は述べました。

「日本において CogniVue との IP ライセンスパートナーである弊社は、TTE のパートナー参加を嬉しく思います。APEX ICP 技術を評価する日本の自動車業界の顧客は、TTE の自動車システムへの高い知見を認めており、CogniVue の APEX 技術は将来、有効的な技術になると考えております。」とデジタルメディアプロフェッショナル CEO 山本哲夫氏は述べました。

CogniVue Corporation について

CogniVue Corporation は、画像・動画認識用のプロセッサソリューションを専門にしているファブレス半導体会社です。自動車、ポータブル消費者家電、IP ビデオ監視などの市場向けに、低電力消費型マルチメディア対応をしております。組み込み画像と APEX 開発ツールにおいて専門性が高く、開発者が革新的であり、スマートペンやスマートバックアップカメラのような以前不可能だった画像製品をデザインすることを可能にしました。CogniVue 社は、株式非公開会社で、本社はカナダのオタワ・ガティノーにあります。

お問い合わせ先

CogniVue Corporation
Tom Wilson
VP Business Development
1.819.595.4999
www.cognivue.com

株式会社豊通エレクトロニクスについて

豊通エレクトロニクスは半導体、組み込みソフトウェア、開発ツール、そしてコンテンツの4つの製品を中心に自動車電子部品を扱う、業界を先導する複合型会社です。豊通エレクトロニクス社の本社は、愛知県名古屋市にあります。

お問い合わせ先

株式会社豊通エレクトロニクス

組み込みソリューション部

川野辺 絵梨

<http://www.toyotsu-electronics.co.jp/>